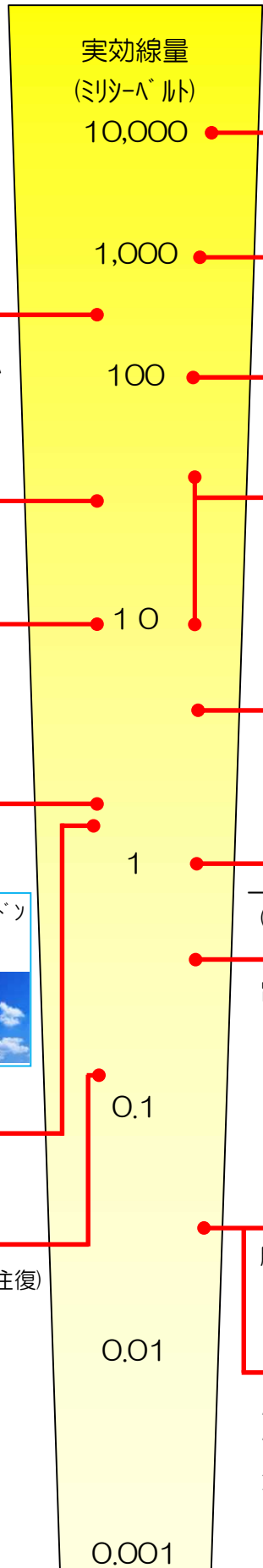


# 「身の回りの放射線の量」

国内自然放射線の差(年間)  
県別平均値の差の最大：0.38

岐阜 ← 神奈川

実効線量  
(ミリシーベルト)

10,000  
1,000  
100  
10  
1  
0.1  
0.01  
0.001

7,000~10,000  
全身被ばく：死亡

1,000  
全身被ばく  
悪心、嘔吐(10%の人)

100  
100mSv以下ではがんの増加は  
確認されていない

10~60  
放射線治療(がん治療)  
(治療部位のみ線量)

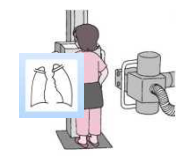
6.9  
胸部X線CT(1回)

1.0  
一般公衆の線量限度(年間)  
(医療被ばくは除く)

0.6  
胃のX線集団検診(1回)

0.05  
胸のX線集団検診(1回)

0.05  
原子力発電所(軽水炉)  
周辺の線量目標値(年間)  
(実績ではこの目標値を  
大幅に下回っています)



500  
全身被ばく  
末梢血中のリンパ球の減少



50  
放射線業務従事者の被ばく実効線量限度  
(年間)

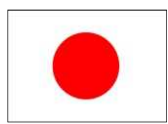


10  
ブラジル・ガハリの放射線  
(年間、大地などから)



2.4  
一人当たりの自然放射線  
(年間、世界平均)

宇宙から	大地から	食物から	空中のドロンから
0.4	0.5	0.3	1.2



2.1  
一人当たりの自然放射線  
(年間、日本平均)



0.19  
東京~ニューヨーク航空機旅行(往復)  
(高度による宇宙線の増加)